

令和8年度6災 第11430号

市道熊野本江線 夏分橋 橋梁災害復旧工事

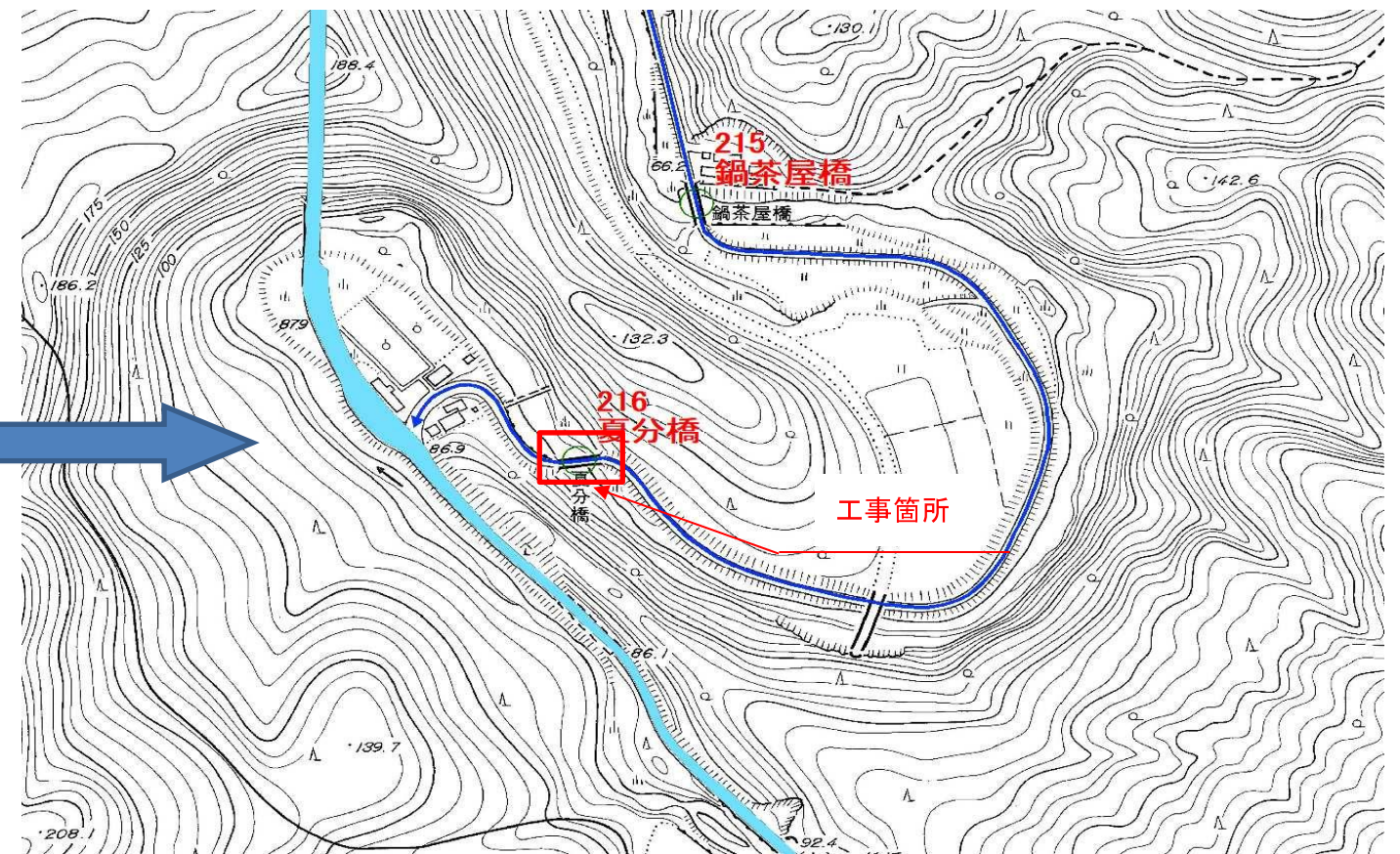
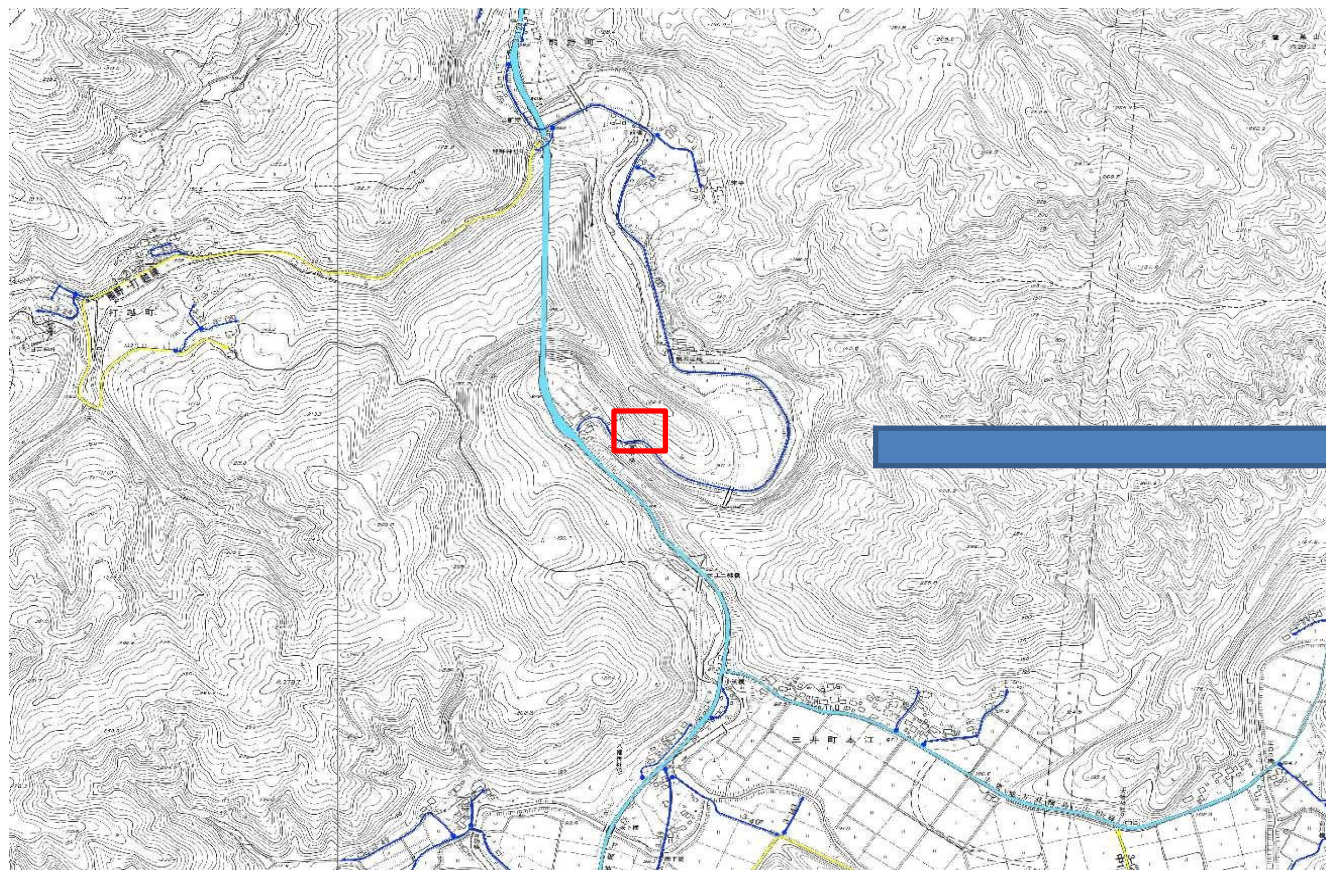
設 計 図 面
【 当初発注 】

石川県輪島市
建設部土木課

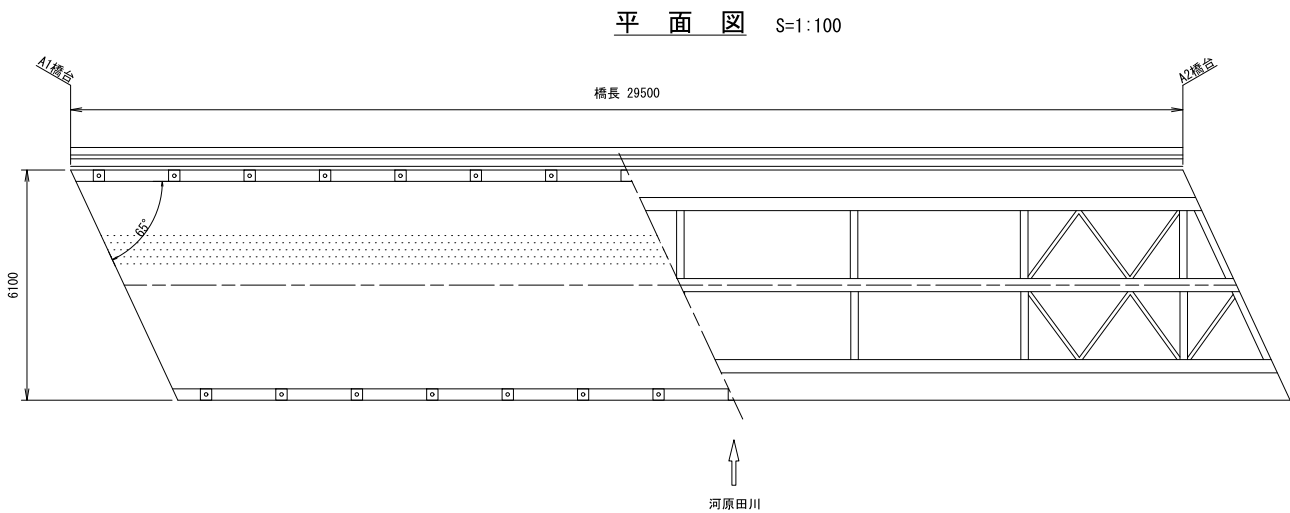
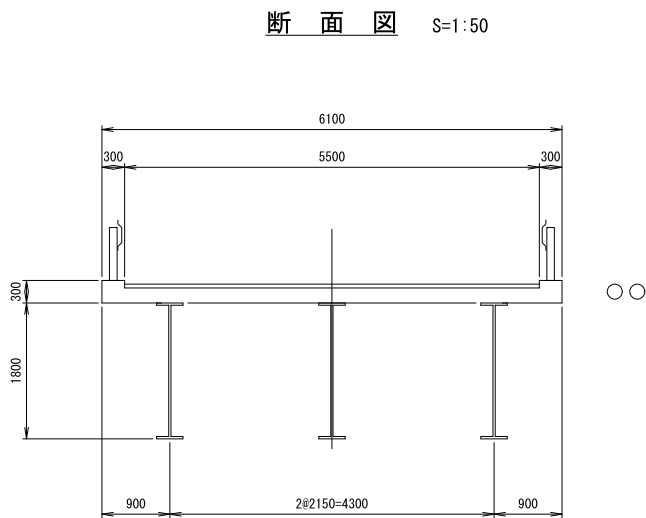
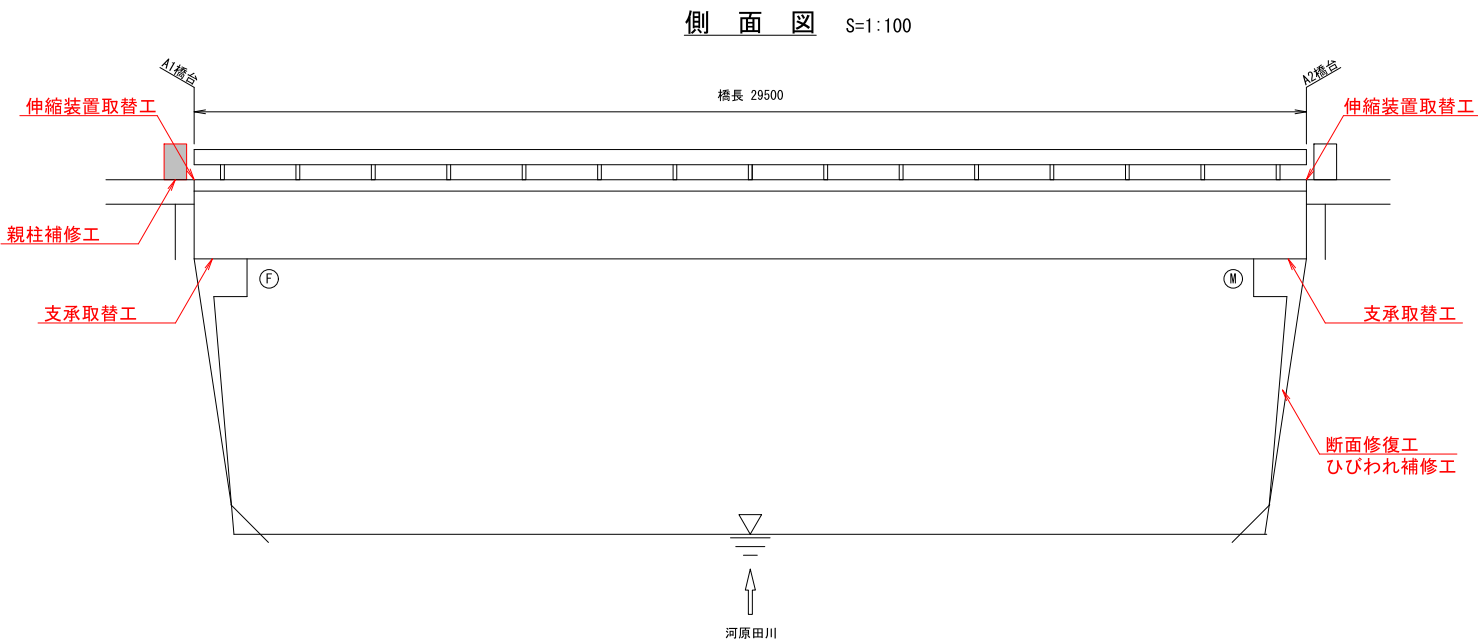
位置面

夏分橋

市道熊野本江線



夏分橋 復旧一般図

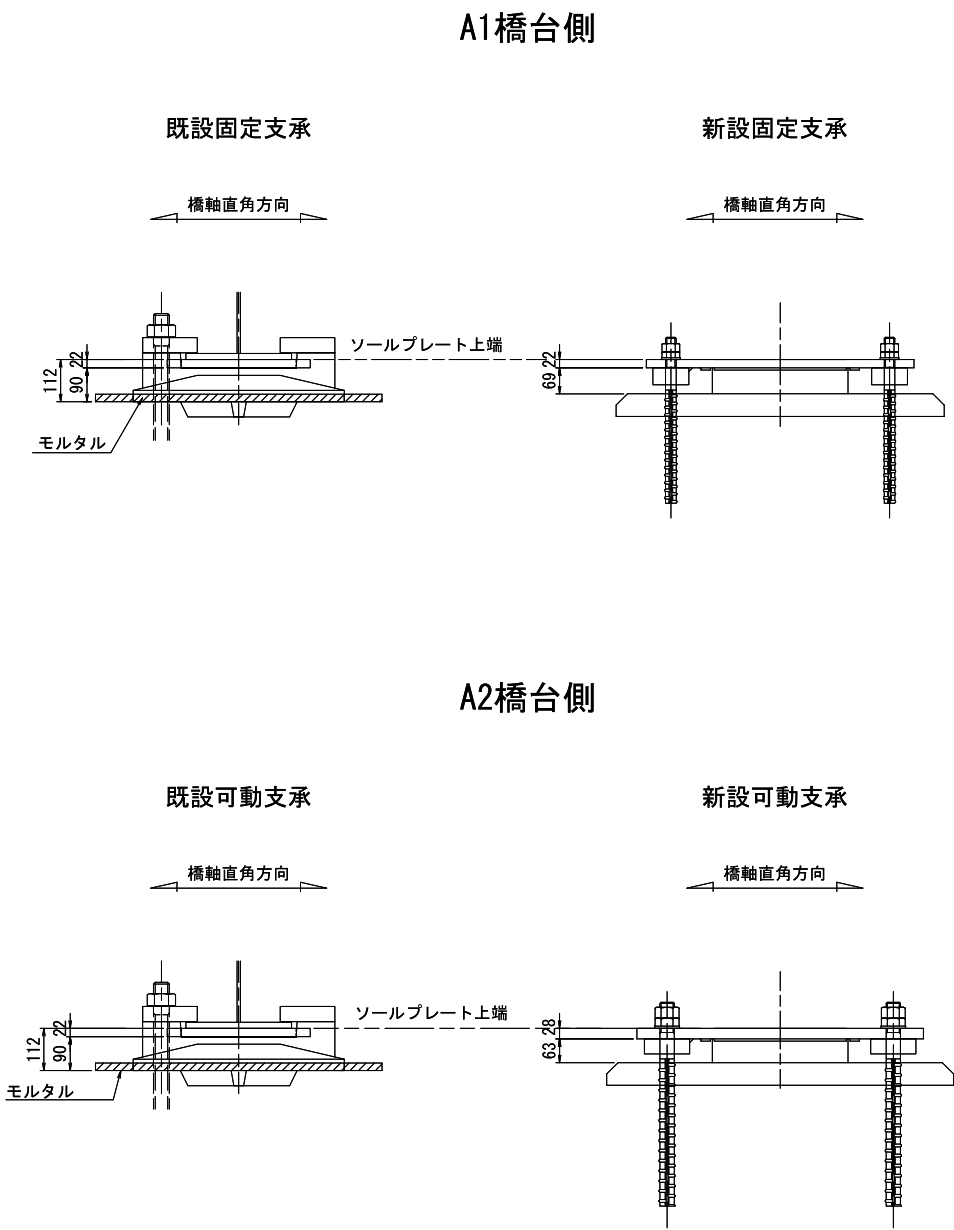
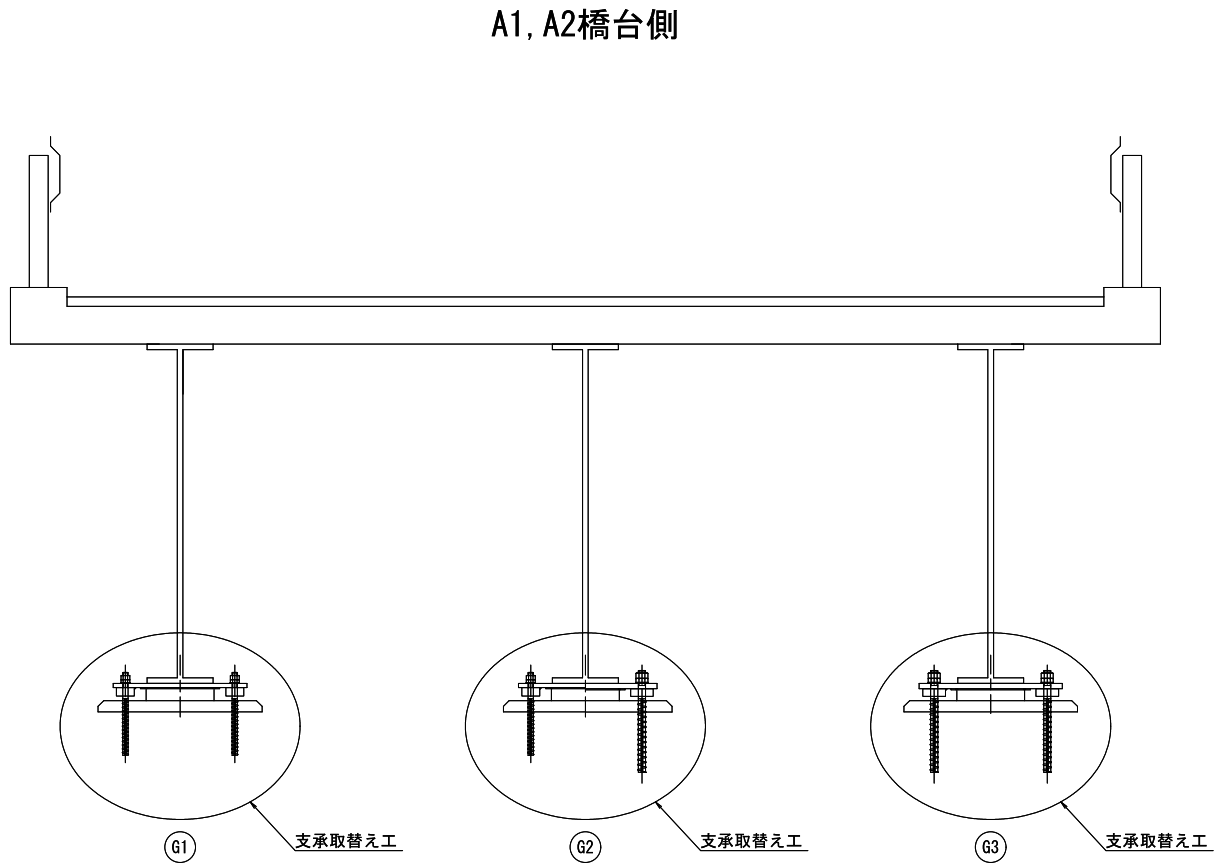


復旧項目	部材
伸縮装置取替工	A1・A2
支承取替工	A1・A2
親柱固定工	A1
断面修復工 ひびわれ補修工	A2

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 復旧一般図
縮 尺	図 示
図面番号	1/12
輪 島 市	

夏分橋 支承取替え一般図

S=1:20



注) A1固定A2可動としているが、現地にて再度
固定・可動の位置を確認すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	支承取替え一般図
縮 尺	図 示
図面番号	2/12
輪 島 市	

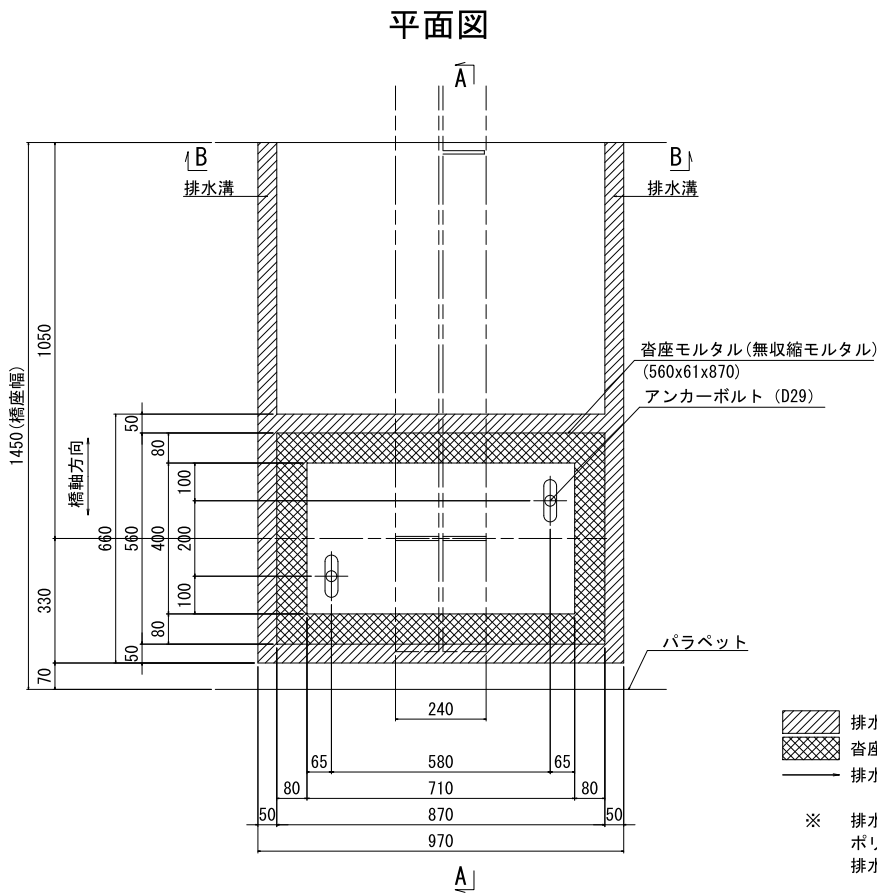
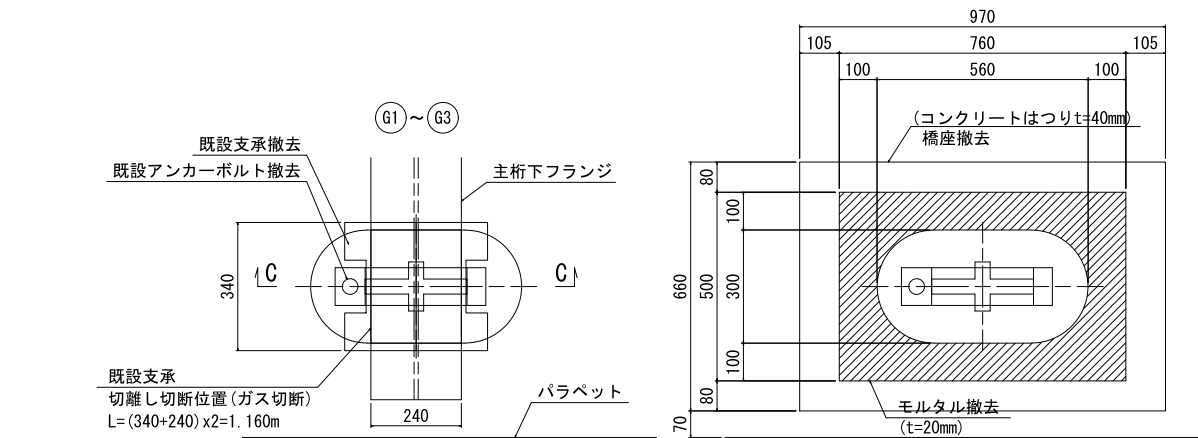
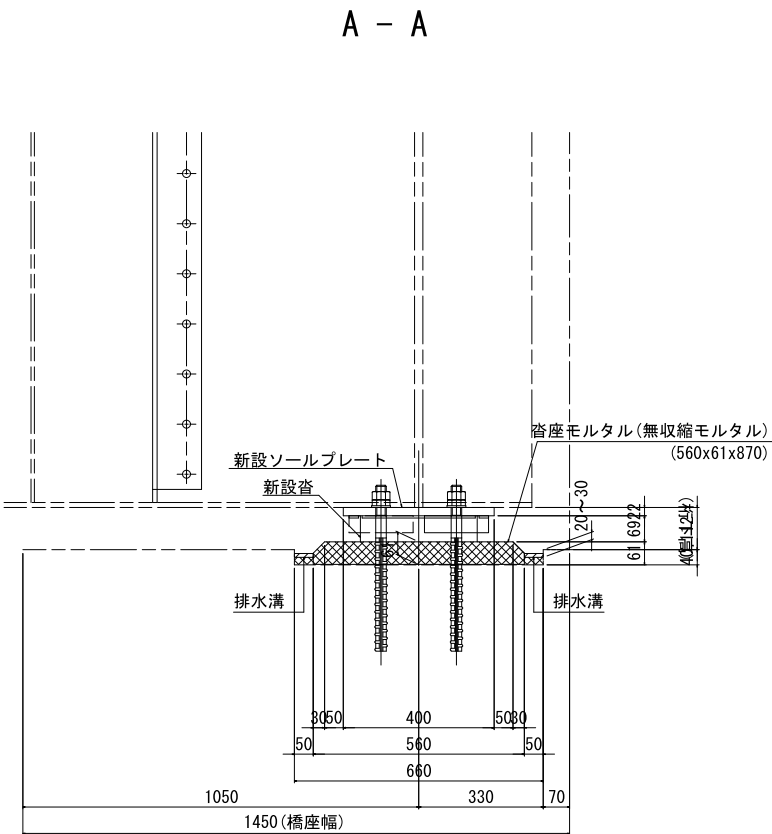
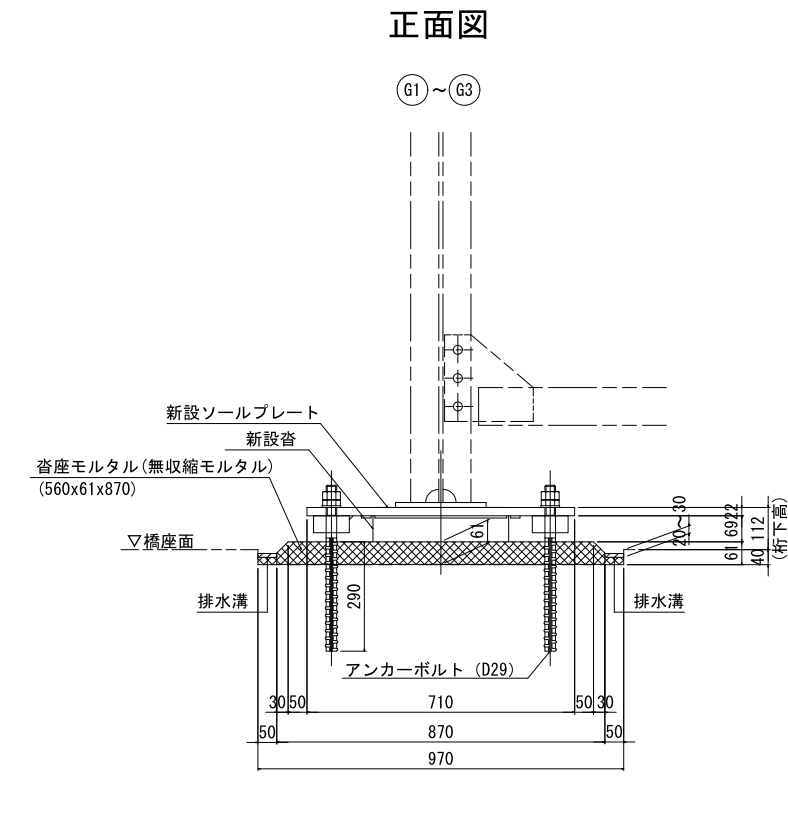
夏分橋 支承取替詳細図(その2)

S=1:10

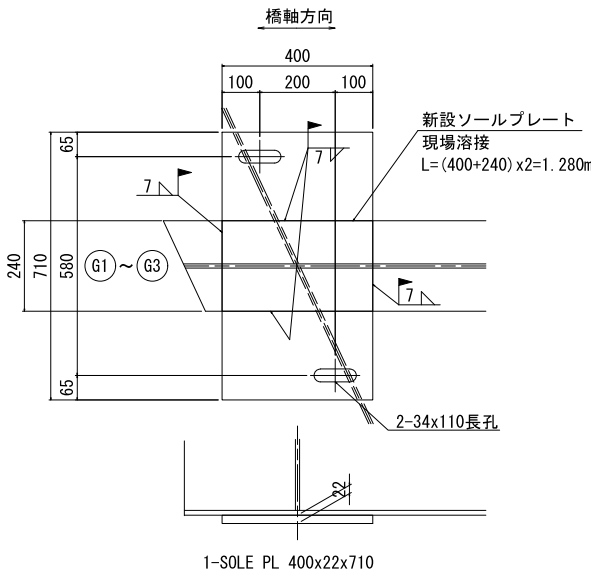
A2側(可動)

新設支承配置図

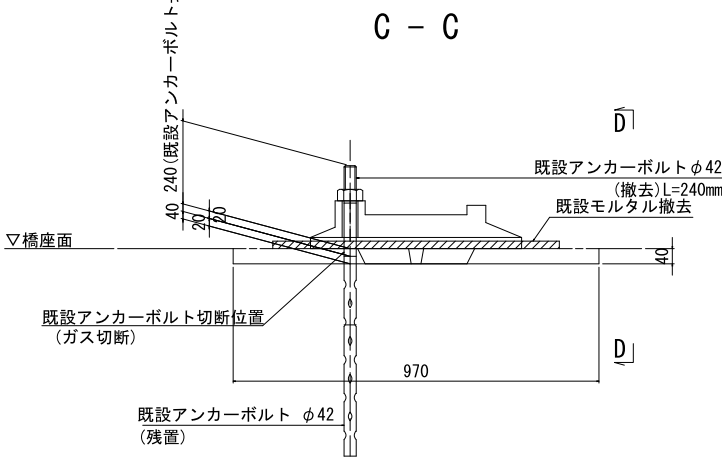
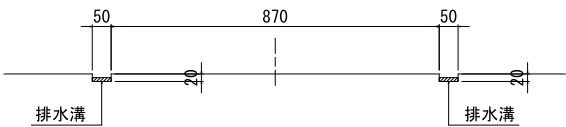
既設支承撤去工図



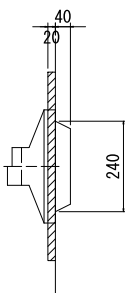
新設ソーラプレート詳細図



B - B



D - D



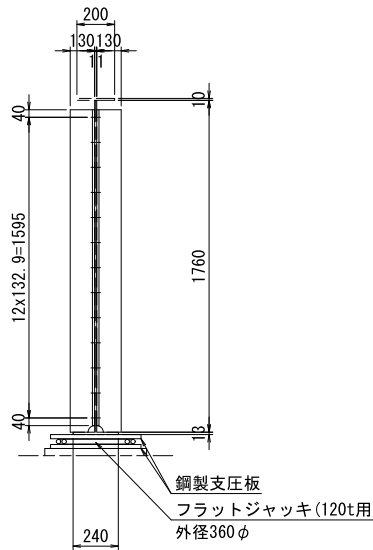
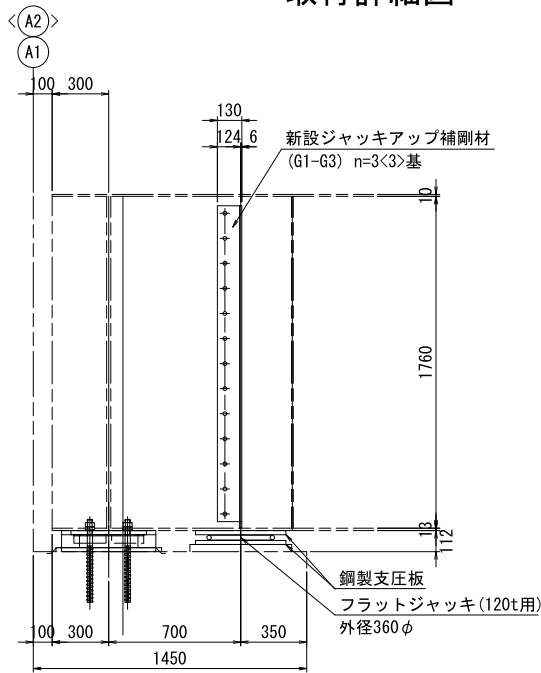
支承撤去数量
支承 : n=3 (G1~G3)
アンカーボルト : φ42 x 240 n=1本 x 3基=3本

ガス切断数量
アンカーボルト : [φ42] n=1箇所 x 3基=3箇所 (G1~G3)

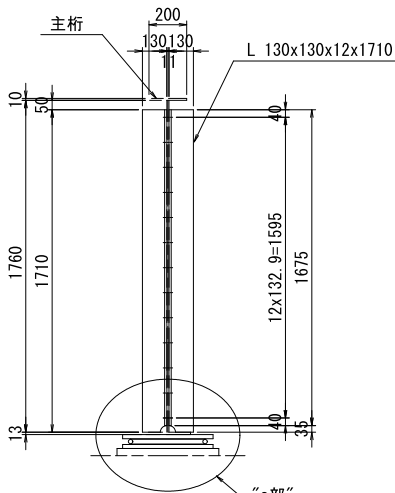
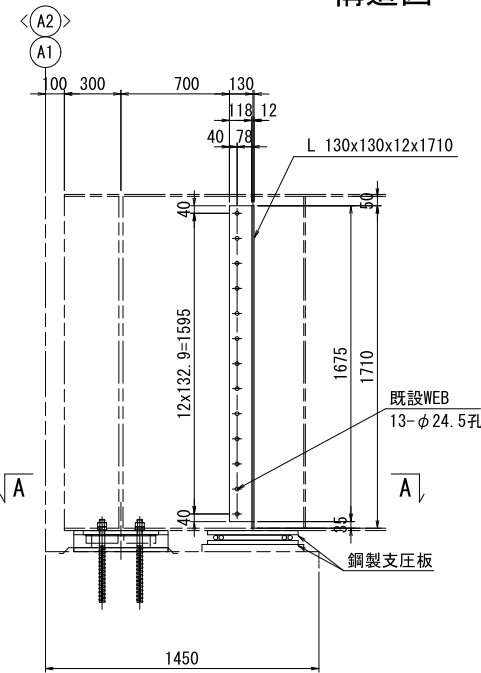
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 支承取替詳細図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	4/12
輪 島 市	

夏分橋 ジャッキアップ補剛材詳細図 S=1:20
A1<A2> G1-G3桁

取付詳細図

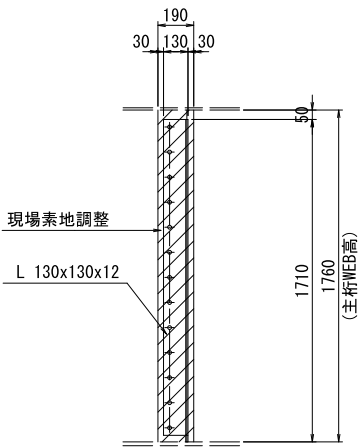


構造図

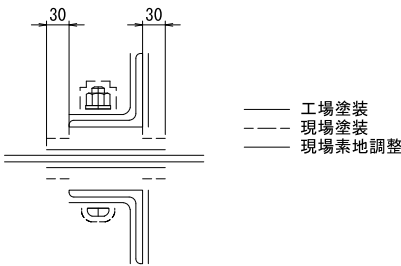


主桁ジャッキアップ補剛材 数量(製作数:6基)
A1<A2>橋台 n=3基<3基>
2 - L 130x130x12x1710 (SS400)
13 - TCB M22x70 (S10T)
現場孔明け工
A1<A2>橋台 n=3基<3基>
φ24.5 t=11 n=13箇所(主桁:WEB) 横向き
TCB本締め工
A1<A2>橋台 n=3基<3基>
M22 n=13箇所(主桁:WEB)

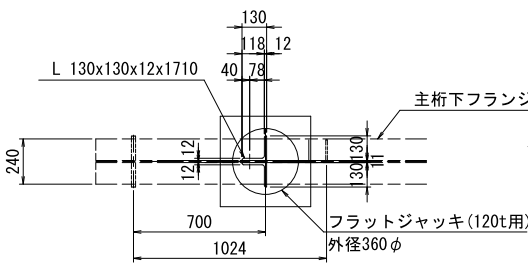
現場素地調整範囲(参考図)



塗装区分図(参考図)

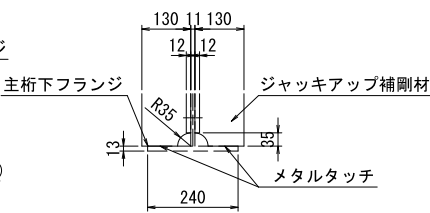


A - A

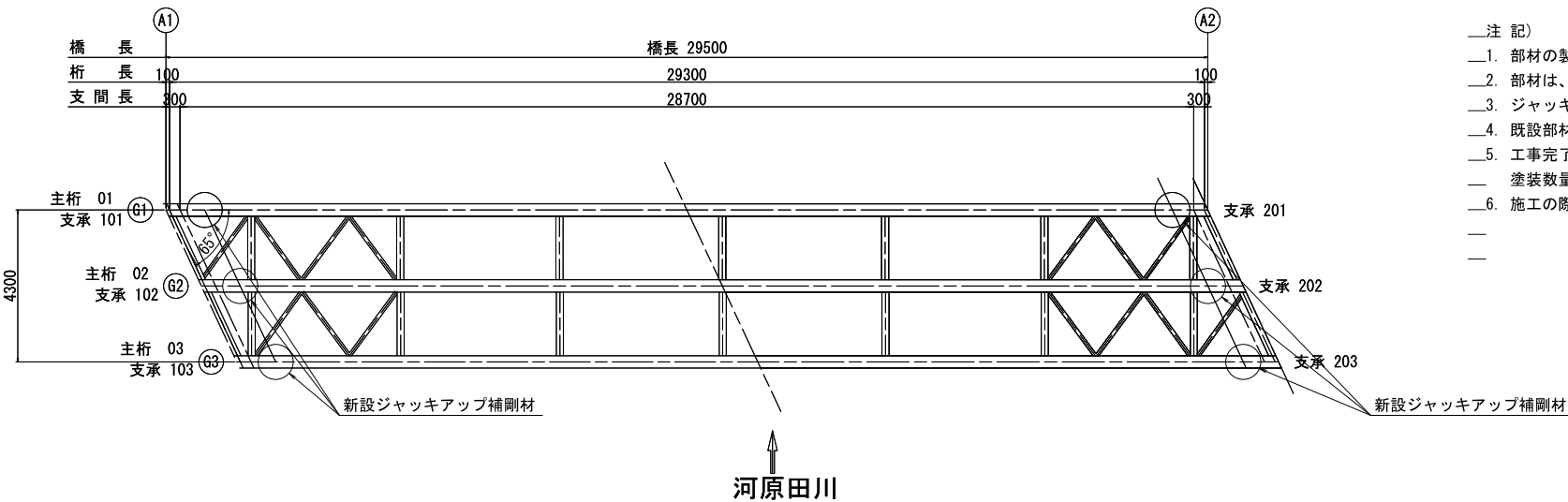


a部詳細図

S=1:10



配置図

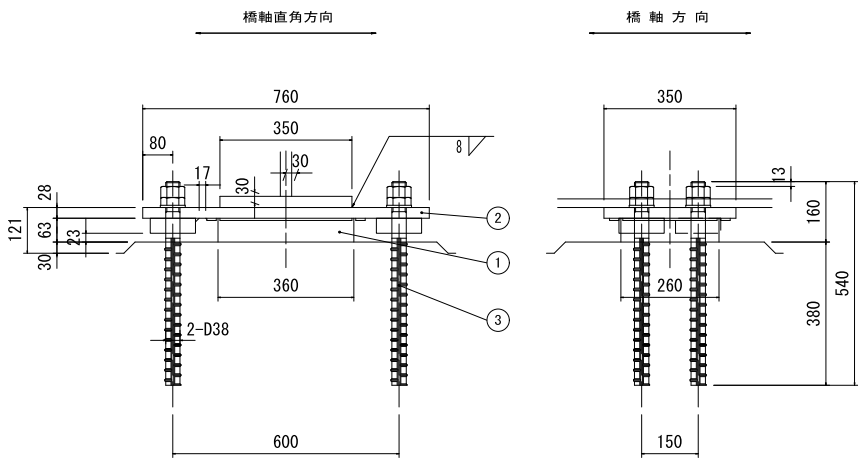


- 注 記)
- 1. 部材の製作・加工は、現地計測のうえ最終決定後に行うこと。
 - 2. 部材は、工場塗装(無機ジンクリッチペイント)とする。
 - 3. ジャッキアップ補剛材は設置後、残置とする。
 - 4. 既設部材は、φ24.5で現場孔明けを行う。
 - 5. 工事完了後に塗装塗替えを行う。
 - 6. 塗装数量は、塗装塗替工数量に含む。
 - 7. 施工の際は、現地計測を行い図面と照合のこと。

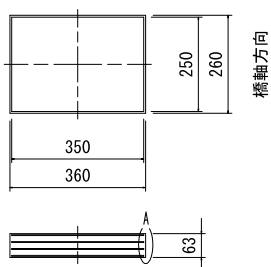
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 ジャッキアップ補剛材詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	5/12
輪 島 市	

夏分橋 支承詳細図（その１） S=1:10

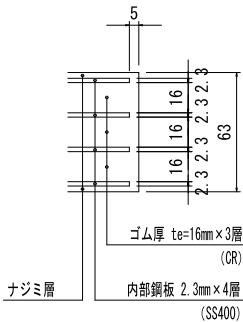
A1 Fix



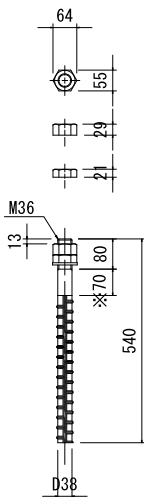
① ゴム支承 (CR+SS400)



A部詳細図 S=1:2



③ アンカーボルト・ナット・ワッシャー (SD345)
(SGめっき)



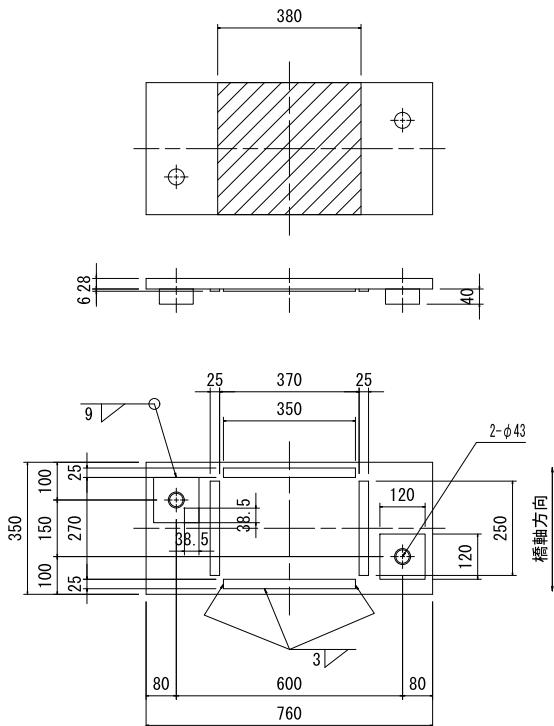
※は節削り区間

平座金 強度区分 10H又は14H

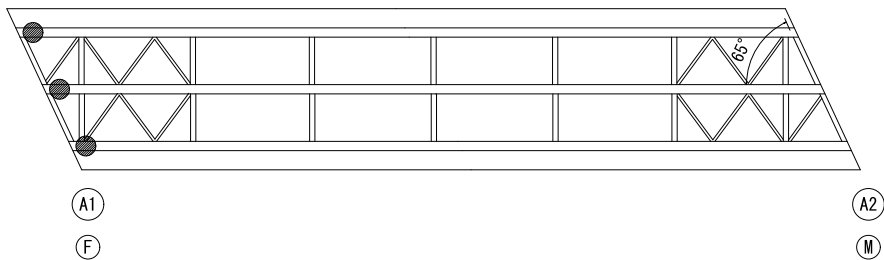
② ソールプレート (SM490A)
(SGめっき)

部は不めっき処理

可動側
上面



配 置 図



設 計 条 件

支 承 条 件		レベル1 対応支承
最大反力	R _{max}	550 KN
最大反力 回転照査用	R _{max2}	460 KN
最大死荷重反力	R _D	320 KN
最大活荷重反力	R _{L+I}	270 KN
照査荷重時変位量 (RL+I/2)	δ_{cl}	0.53 mm
回転変位量	δ_r	1.25 mm
水平変位量	常時 橋軸方向	$\Delta L1$ --- mm
	地震時 橋軸方向	$\Delta Le1$ --- mm
	橋軸直角方向	$\Delta Le2$ --- mm
性 せん断ばね定数	K _S	--- KN/mm
能 圧縮ばね定数	K _V	--- KN/mm

材料表 (1支承当り)

	名 称	材 質	個数	数 量 (kg)	備 考
①	ゴム支承	CR+SS400	1	13.9	Ge=1.0N/mm ²
②	ソールプレート	SM490A	1	67.4	
③	アンカーボルト	SD345	2	20.7	ナット・ワッシャー含む
全質量 (kg)				102.0	

注) 1. ○印は、アルミ合金めっき (SGめっき) 仕様とする。

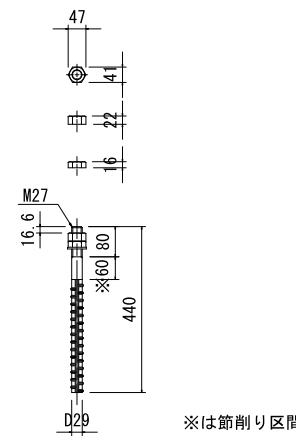
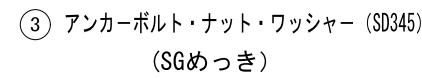
HZA50Aとする。

注) 2. 質量は参考質量とする。

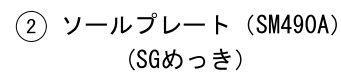
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋夏分橋橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 支承詳細図 (その1)
縮 尺	図 示
図面番号	6/12
輪 島 市	

S=1:10

設計条件

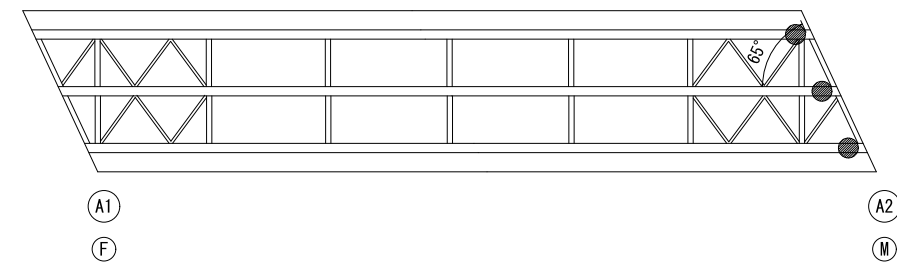


平座金 強度区分 10H又は14H



Technical drawing of a rectangular frame assembly, likely a window or door frame, showing dimensions and components.

- Overall Dimensions:**
 - Total width: 710
 - Total height: 400
- Internal Frame Dimensions:**
 - Inner width: 580
 - Inner height: 300
- Component Details:**
 - Top Rail:** Width 370, thickness 25.
 - Bottom Rail:** Width 65, thickness 25.
 - Sides:** Thickness 25.
 - Vertical Spacers/Supports:** Height 95, width 40.5.
 - Horizontal Spacers/Supports:** Width 110, height 170.
 - Fasteners/Bolts:** Labeled "2-34×110長孔" (2 pieces, 34mm diameter, 110mm length).
 - Other Dimensions:** 10, 25, 320, 350, 3, 29, 34, 65.
- Orientation:** Indicated by arrows pointing right, labeled "橫軸方向" (Horizontal Axis Direction).



配置図

支 承 条 件		レベル 1 対応支承
最大反力	R _{max}	550 KN
最大反力 回転照査用	R _{max2}	460 KN
最大死荷重反力	R _D	320 KN
最大活荷重反力	R _{L+I}	270 KN
照査荷重時変位量 (RL+I/2)	δ_{cl}	0.51 mm
回転変位量	δ_r	1.40 mm
水平変位量	常時 橋軸方向	$\Delta L1$
		36.4 mm
地震時	橋軸方向	$\Delta Le1$
		--- mm
地盤時	橋軸直角方向	$\Delta Le2$
		--- mm
性	せん断ばね定数	K _S
		--- KN/mm
能	圧縮ばね定数	K _V
		--- KN/mm

材料表 (1 支承当り)

	名 称	材 質	個数	数量 (kg)	備 考
①	ゴム支承	CR+SS400	1	17.7	Ge=1.0N/mm ²
②	ソールプレート	SM490A	1	58.1	
③	アンカボルト	SD345	2	9.4	ナット・ワッシャー含む
全質量 (kg)				85.2	

注) 1. O印は、アルミ合金めっき (SGめっき) 仕様とする。
HZA50Aとする。

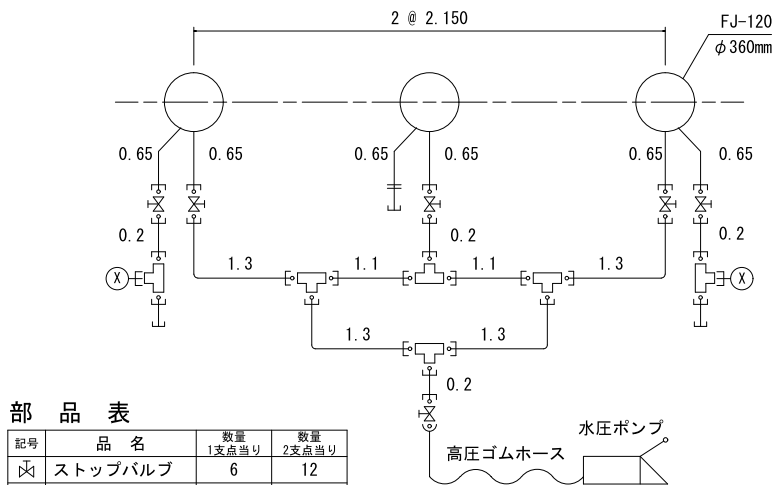
注) 2. 質量は参考質量とする。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第114430号 市道熊野本江線夏分橋橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 支索詳細図（その2）
縮 尺	図 示
図面番号	$\frac{7}{12}$
輪 島 市	

夏分橋 支承詳細図（その3）

フラットジャッキ

3台連動配管図(参考図)



部 品 表

記号	品 名	数量 1支点当り	数量 2支点当り
⌵	ストップバルブ	6	12
∩	異型ニップル	1	2
⌋	ブッシング	2	4
⌋	継手 K c 予備2ヶ含む	29	58
⌋	継手 K u 予備1ヶ含む	2	4
⌋	ストッパー	3	6
⌋	チーズ	6	12
	部品組立	49	98
—	スケジュール管	13	26

リース品

記号	品 名	数 量
⌋	水圧ポンプ	1
〜	高圧ホース	1
⊗	普通圧力計	2

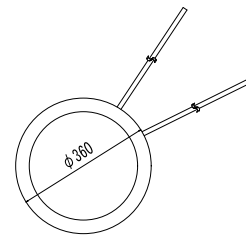
スケジュール管

- ・ 0.2 m × 4ヶ所 = 0.8m
- ・ 0.65m × 6ヶ所 = 3.9m
- ・ 1.1 m × 2ヶ所 = 2.2m
- ・ 1.3 m × 4ヶ所 = 5.2m

12.1 ≒ 13m

フラットジャッキ s = 1:10

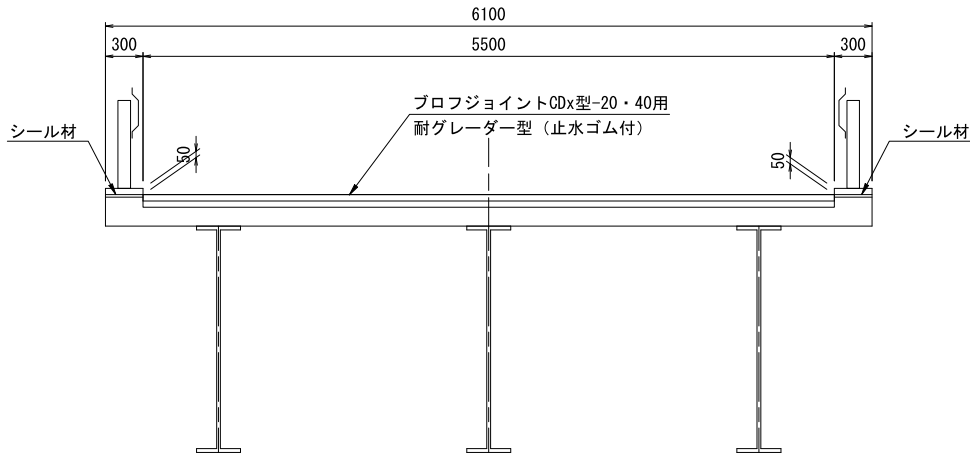
FJ-120



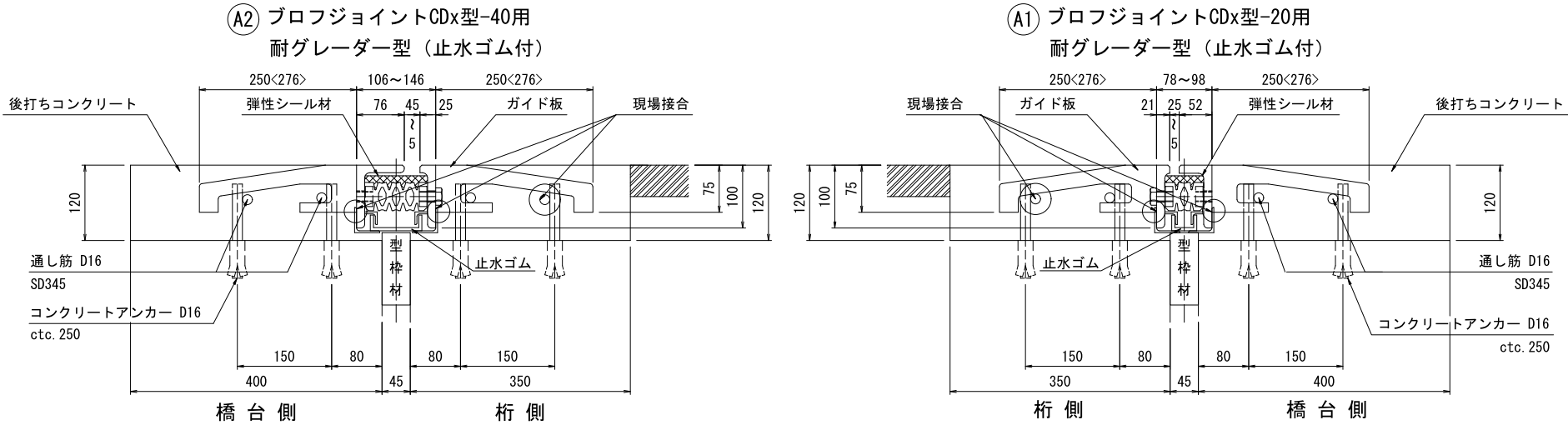
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 支承詳細図（その3）
縮 尺	図 示
図面番号	8 / 12
輪 島 市	

夏分橋 伸縮継手詳細図

断面図 s = 1:30

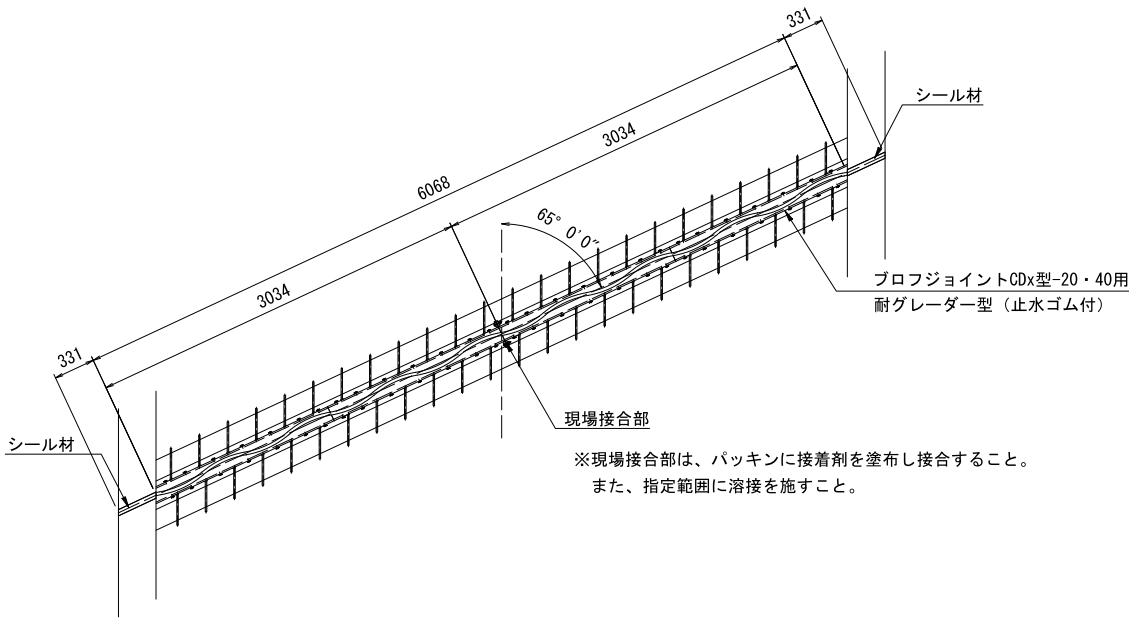


伸縮継手断面図 s = 1:5



※()は車両進行方向を示す。

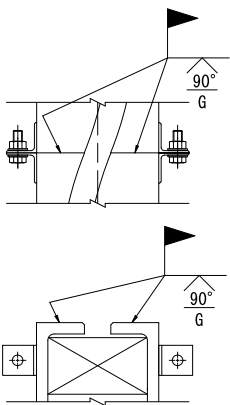
平面図 s = 1:30



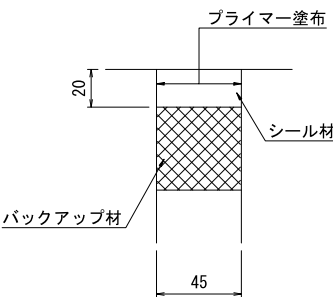
※現場接合部は、バックキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

現場接合部詳細

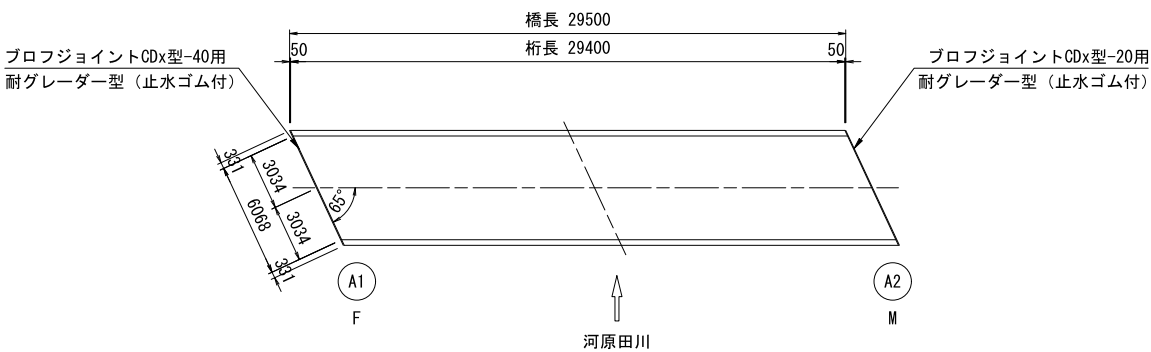
プロフジョイントCDx型



シール材充填図 s = 1:2



位置図 s = 1:200



伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
プロフジョイントCDx型-20用	SS400 合成ゴム 弾性シール	6.068 m		6.068 m	耐グレーダー型 (止水ゴム付)
プロフジョイントCDx型-40用	SS400 合成ゴム 弾性シール		6.068 m	6.068 m	耐グレーダー型 (止水ゴム付)
シール材	シリコン系	0.60 リットル	0.60 リットル	1.20 リットル	
後打コンクリート		0.546 m3	0.546 m3	1.092 m3	超速硬コンクリート
コンクリートアンカー		96 本	96 本	192 本	
通し筋	SD345	4 本	4 本	8 本	D16x6068
排水パイプ	ステンレス	1 本	1 本	2 本	20Ax4000
CDx型用接着剤		1 式		1 式	20用
〃			1 式	1 式	40用

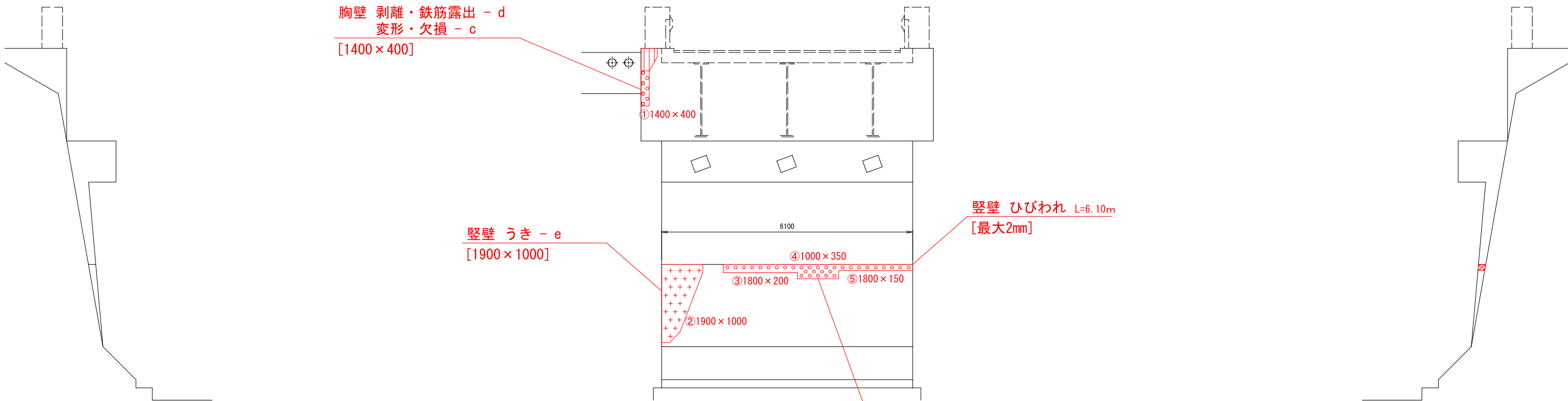
注) 伸縮継手長さは、現地測量後決定する事。
注) 既設伸縮継手の後打ちコンクリートは撤去する事。
注) カッター幅及びはつり深さは、現地確認の上、決定の事。
注) 排水パイプは、現地測量のうえ決定する事。現地状況により設置困難な場合は、施主と相談の上設置の有無を決定する事。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 伸縮継手詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	9/12
輪 島 市	

夏分橋 復旧図

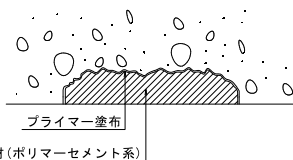
S=1:50

A2橋台

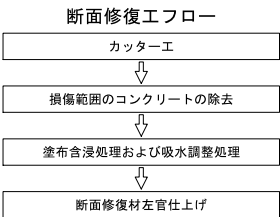


河原田川

断面修復詳細図

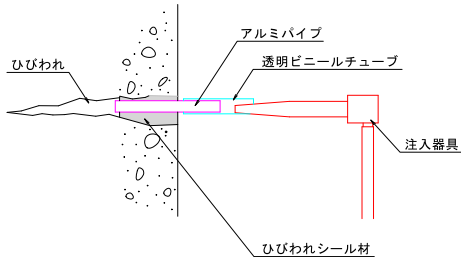


- 注記
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
 - ・補修材の圧縮強度は母部材16.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
 - ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
 - ・施工時に、補修箇所(寸法等)を再度確認すること。
 - ・修復材は十分硬化したうえで次層を塗り重ねること。



要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (16.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

ひび割れ充てん工詳細図



- 注記
- ・5.0mm程度のひび割れを補修対象とする。
 - ・補修材の圧縮強度は母部材16.0N/mm²以上、接着強度1.46N/mm²以上を確保すること。
 - ・施工は自動低圧注入工法もしくは手動式ポンプ注入工法とする。
 - ・施工時にひび割れ注入箇所を再度確認すること。
 - ・本橋梁においては、断面修復範囲のコンクリート除去後に注入作業を実施する。

要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (16.0N/mm ² 以上)
接着強度 (引張強度)	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (1.46N/mm ² 以上)

ひびわれ充てん工 集計表

損傷種類	部材名	W (m)	L (m)	D (m)	V (m3)
ひびわれ ⑥	A2橋台 縦壁	0.002	6.10	0.50	0.006
合 計					0.006

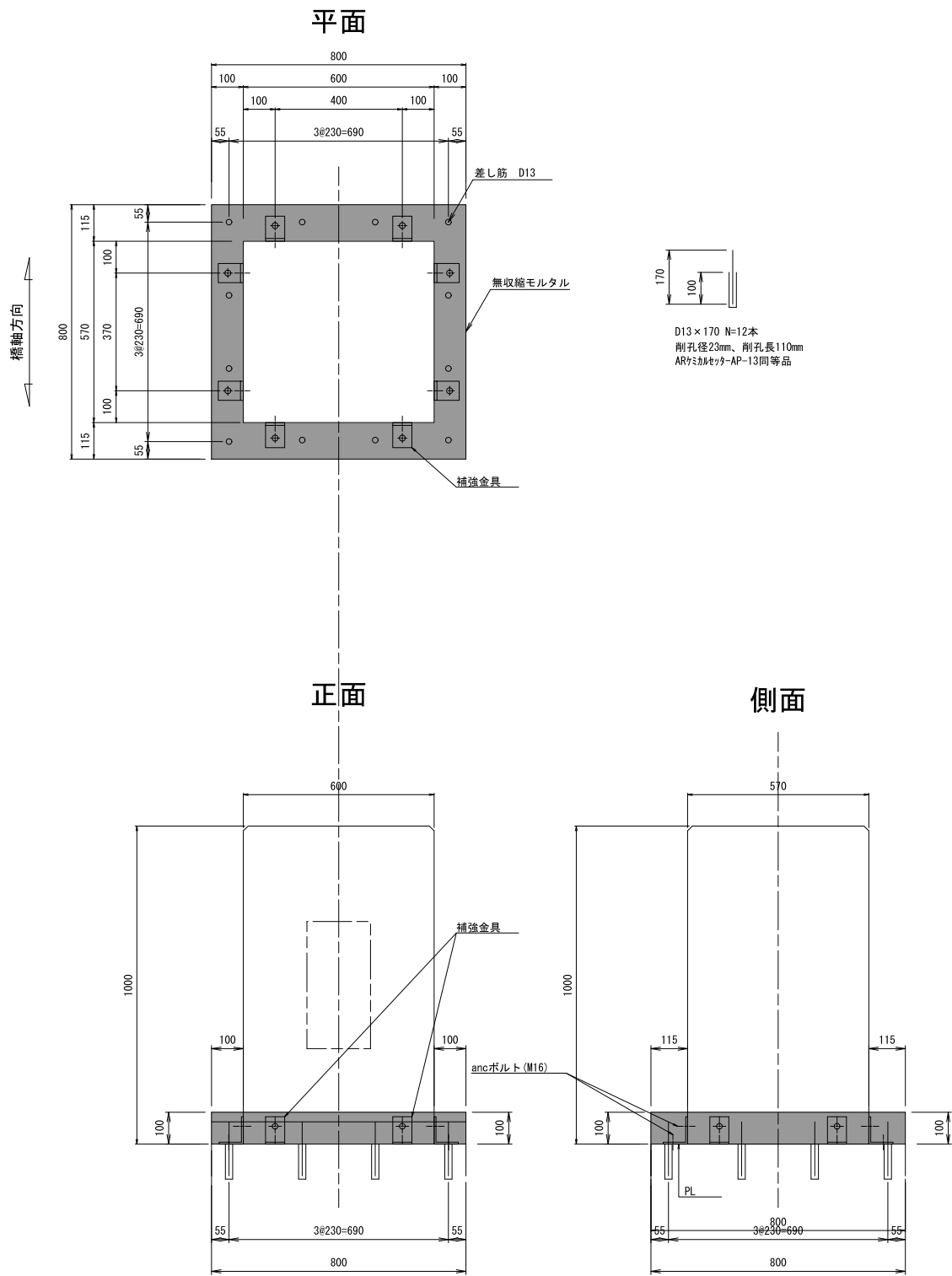
断面修復工 集計表

	番号	記号	範囲X (mm)	範囲Y (mm)	範囲T (mm)	V (m3)	備考
A2橋台	①	T	1400	400	50	0.03	
A2橋台	②	T	1900	1000	50	0.10	
A2橋台	③	T	1800	200	50	0.02	
A2橋台	④	T	1000	350	50	0.02	
A2橋台	⑤	T	1800	150	50	0.02	
合計							
下部工						0.19	m3

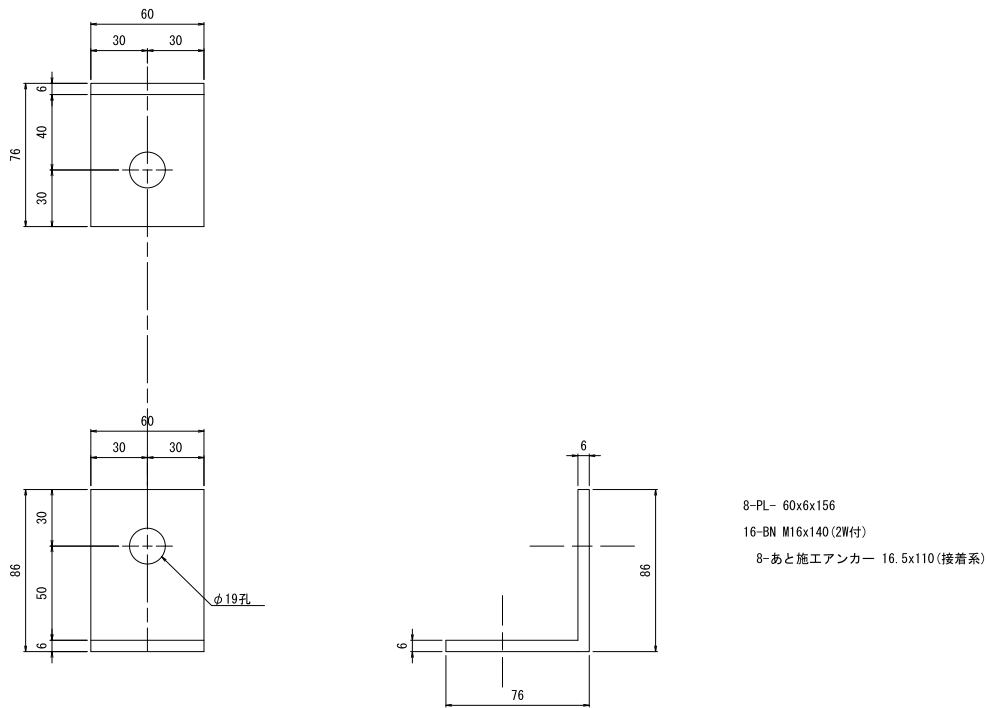
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町 地内
図 名	夏分橋 復旧図
縮 尺	S=1:50
図面番号	10/12
輪 島 市	

夏分橋 熊野本江線 親柱補修

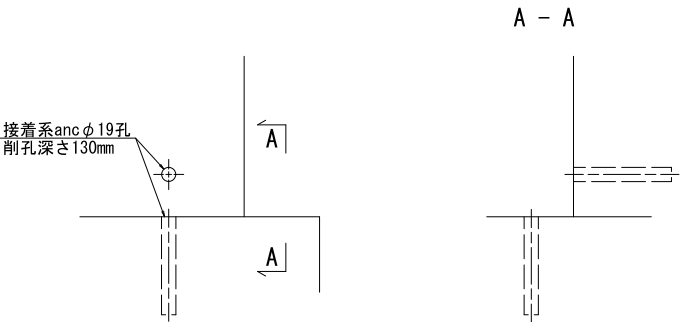
S=1:10



補強金具 S=1:2



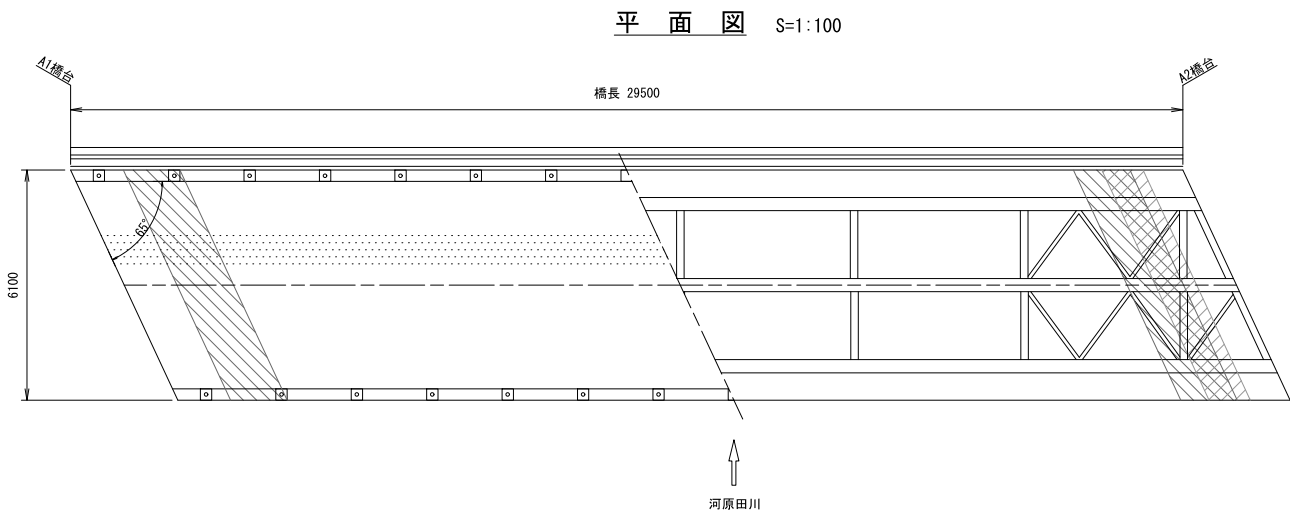
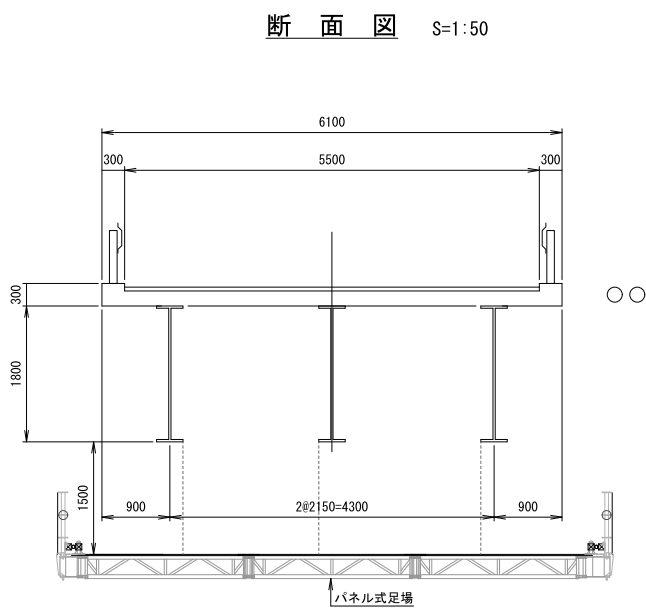
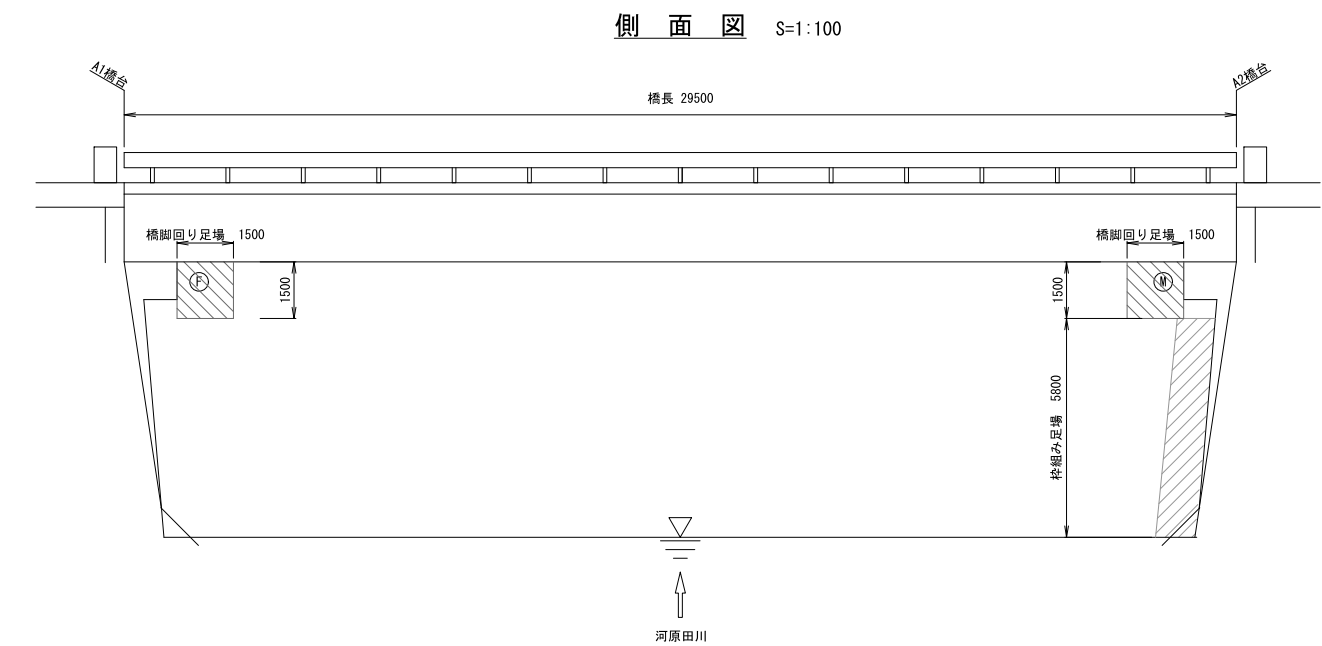
補強部本体削孔 S=1:5



- 注 記
1. ハッチ部は無収縮モルタルを打設する。
 2. 削孔位置は鉄筋探査のうえ適宜調整すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町地内
図 名	夏分橋 親柱補修図
縮 尺	図 示
図面番号	11/12
輪 島 市	

夏分橋 仮設足場参考図(案)



令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度6災 第11430号 市道熊野本江線夏分橋梁災害復旧工事
路 線 名	熊野本江線
箇 所	輪島市熊野町 地内
図 名	夏分橋 仮設足場参考図(案)
縮 尺	図 示
図面番号	12/12
輪 島 市	